

お仕事帰り気軽にコンサート

平日ソワレ

～ Orchestra de Salon ～

ト ウ シ ツ ヲ ヲ イ オ リ ズ ム

1042 Violism

指揮
橘 直貴

ヴァイオリン
根来 由実

東京室内管弦楽団



Naotaka TACHIBANA

バイオリズムを整える優雅なひととき

コンサートマスター根来由実が奏でる…

「感性に訴える」



Yumi NEGORO

サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調 op.28

ヴィターリ：シャコンヌ ト短調

サン＝サーンス：ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ長調 op.20 他

2025年 **10月10日** **金** 19:30開演(19:00開場) 20:30終演予定

サントリーホール ブルーローズ

全席指定

一般 4,500円

グランドシート 3,600円
(65歳以上/妊婦の方/障がい者手帳をお持ちの方)

学生 (27歳まで) 1,500円

お座席はお選びいただけません

港区民各1割引き(学生除く)※10月3日(金)ご予約分まで

チケット発売日 5月23日(金) 10:00～

東京室内管弦楽団チケットサービス

☎ 03-3438-2555 (平日 10:00～18:00)

✉ ticket@tco.or.jp (24時間受付)

🌐 <https://tco.or.jp/reservation/> (24時間受付)

※未就学児入場不可 ※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等が変更になる場合がございます。
※ご予約後のキャンセル・変更は致しかねますのでご了承ください。



平日ソワレ “お仕事帰り気軽にコンサート” ～ Orchestra de Salon ～ 『1042 Violism』

“**1042 Violism**”(トウシツ ヴァイオリズム)とは東京室内管弦楽団の愛称「東室」と、Violin、Rythm、-ism、biorhythm(バイオリズム)を織り込んだ造語「Violism」を掛け合わせたもの。これをタイトルに掲げた新シリーズがこの秋スタート。旋律美に満ちたオーケストラ曲の中でも、特にヴァイオリンのメロディーが際立つ作品や、ヴァイオリンソロが楽しめる楽曲など、ヴァイオリンの魅力を存分にお伝えするプログラムでお届けします。まるで中世の宮廷サロンのような雰囲気ブルーローズで、美しい管弦楽の音色に身を委ね、日々乱れがちな心と身体のバランス=バイオリズムを整える優雅なひとときを。

シリーズ初回は、東京室内管弦楽団の特色である「感性に訴える」ヴァイオリンを主とした弦楽の音色を深くお楽しみいただける選曲で構成。

まずは、サン=サーンスが作曲し、言わずと知れたヴァイオリンのサラサーテに献呈されたとされる2曲、**序奏とロンド・カプリチオーソとヴァイオリン協奏曲第1番**を。



指揮
橘 直貴 Naotaka TACHIBANA

桐朋学園大学音楽学部卒業後、同大学指揮研究科に在籍。これまでに、指揮を岡部守弘、紙谷一衛、黒岩英臣、湯浅勇治、サルヴァドール・マス・コンデ、イザーク・カラブチェフスキー、ヨルマ・バナラの各氏に師事。チェンバロを鍋島元子氏(故人)に師事。2001年第47回ブザンソン国際指揮者コンクール・ファイナリストならびに会場内の聴衆による投票にて最優秀である聴衆賞受賞。同年に、オーケストラ・レジオナル・

ドゥ・カンヌと、2006年のサンクト・ペテルブルグ・フィルハーモニーと共演。2007年、第2回バルトーク国際オペラ指揮者コンクール優勝。これまでに、東京交響楽団、東京シティフィル、読売日本交響楽団、東京室内管弦楽団、札幌交響楽団、仙台フィル、広島交響楽団、関西フィル他に客演。作品が書かれた当時の様式や美学を検証し、澄んだ響きと輝きのあるサウンドを追求。音楽家の個性を大切に対話しながら音楽を組み立て、それぞれ生きた声部として成り立つ音楽を作るという姿勢は、オーケストラからの信頼も厚い。現在、東京室内管弦楽団のアドヴァイザー兼プリンシパルコンダクターとして、同団の活動理念である「求められる演奏活動」を念頭に、様々なアプローチで音楽の魅力、楽しさを伝えることを大切にしている。

<http://www.naotakatachibana.com/>

この第1番はサラサーテが初演したとされ、技巧的で煌びやかなヴァイオリンが楽しめる知られざる名曲。世界的に録音も少なく、演奏機会も大変希少であり、先程の“序奏とロンド・カプリチオーソ”とは、いわば“太陽”と“月”のような対照的な魅力を放ちます。当団が誇るコンサートマスター根来由実によってどのように奏でられるか、この機会をぜひお聴き逃しなく！

そして、こちらもヴァイオリンの名手ヴィターリが作曲したとされる“シャコンヌ”を、弦楽による合奏協奏曲風に。その他にも魅力に満ちた作品をご用意しています。

“**Orchestra de Salon**”とは、当団が独自に提唱する、小編成で小規模会場、短時間開催のサロンスタイルのコンサート。19:30開演、休憩なしの1時間公演なので、お仕事帰りでも気軽にお立ち寄りいただけます。

ご来場くださる皆様からいただく大切なお時間。マエストロはじめ、演奏家、スタッフ一同、心を込めてお届けいたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



ヴァイオリン
根来 由実 Yumi NEGORO

東京藝術大学卒業。在学中より、モーニングコンサートのソリストとして藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。卒業とともに、秋山和慶氏率いる洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団のコンサートマスターに就任。その後、フランスの技能・才能ビザ“Competence et talent”を取得。フランスにてソロ活動や研鑽を積む。東京フィルハーモニー、関西フィルハーモニー、中部フィルハーモニー、国民文化祭特別

オーケストラ、オーヴェルニュ室内管(フランス)の客演コンサートマスターとして、現地公演にも招かれるなど、国内外のオーケストラのコンサートマスターとして客演。また、Disneyのオフィシャル周年コンサートの全国ツアー、billboard classics オーケストラのコンサートマスターも務めるなど、クラシックのみならず、多種・多彩なジャンルのアーティスト、指揮者やオーケストラからの信頼も厚い。また、地域貢献活動、音楽教育公演などにも力を入れており積極的に演奏活動を展開している。これまでに、澤和樹、故若林暢、前橋君子、故 山本由香子、マスタークラスにて、レオン・シュピラー、ロレンツ・ナストゥリカ、ステファン・ピカル、ヤン・ソンシク、ルイス・カブランの各氏に、室内楽を岡山潔、北本秀樹、藤森亮一、青柳晋の各氏に師事。2021年、東京室内管弦楽団のコンサートマスターに就任。



東京室内管弦楽団

TOKYO Chamber Orchestra

新しい「感動」と出えるオーケストラ——

1928年創立。95年に及ぶ伝統と多くの実績をもつ。

「求められる演奏活動」理念のもと、1964年より全国の学校を対象に＜オーケストラ鑑賞教室＞を展開、以来、「教育演奏活動」は最も力を入れている活動のひとつ。また、創立以来、クラシック以外のジャンル(タンゴ、ジャズ、ロック、アニメ、ゲーム音楽など)を、いち早く取り入れるなど、オーケストラの可能性を広げジャンル問わず高い評価を得ている。その他、自主公演(年間10公演)、オペラ、合唱団との共演から、映画のレコーディング、劇伴演奏など手掛けており、年間を通し様々なジャンルの音楽を演奏しているのも特徴の一つ。

<https://www.tco.or.jp>

会場アクセス

サントリーホール ブルーローズ

〒107-8403 東京都港区赤坂1-13-1

TEL 03-3505-1001(代表)

【電車をご利用の場合】

東京メトロ 銀座線 / 南北線…溜池山王駅13番出口
東京メトロ 南北線…六本木一丁目駅3番出口

【バスをご利用の場合】

都営01系統バス(渋谷～新橋)…
赤坂アークヒルズ・赤坂アークヒルズ前

